

様式2) 新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)市ノ沢山吹(停)線						
事業毎の通番		3	市町村名	豊丘村～高森町	箇所名(ふりがな)	新万年橋(しんまんねんばし)					
事業概要	事業目的	(一)市ノ沢山吹(停)線は、豊丘村の北部地区と高森町JR飯田線山吹駅を結ぶ路線であり、天竜川東側(竜東)から西側(竜西)に立地する商業施設や松川インターへのアクセスなどに利用されており、近年は、竜東一貫道路と竜東側の工業団地の建設により、大型車を含めた交通量が増加している。現道は、天竜川を渡河する万年橋は、昭和34年に架橋された老朽橋であり、本線は幅員狭小、線形不良の区間があり、歩道も設置されていない状況である。 本事業は、新たな橋梁の架設を含む道路を整備し、(主)伊那生田飯田線と豊丘村、喬木村により整備された竜東一貫道路と接続することにより、天竜川東西の円滑で安全な通行の確保と(国)153号の代替機能や三遠南信自動車道喬木ICへのアクセス向上などを図るものである。									
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法						
	関連する事業、計画等	南信地域広域道路ネットワーク計画 高森町地域防災計画 豊丘村地域防災計画									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 4,100台/日(H42推計)									
	着手年度	平成29年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)					
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	1.3		国庫	1,650,000	その他	1,215,000	一般財源	135,000	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=800m W=6.0(10.0)m (橋梁 L=約300m)			3,000,000							
年度事業内容(主な工種)	路線測量、道路詳細設計、地質調査、橋梁設計一式			50,000	27,500	20,250	2,250				
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、走行経費等の減少 36億円 下伊那北部地域の道路ネットワーク強化、竜東一貫道路と合わせた災害に強い道路網の構築									
	間接的効果(定量的・定性的)	下伊那北部地域の地域間交流の促進 工業、商業施設の活性化									
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス : JR飯田線山吹駅及び下平駅、中央自動車道松川IC、三遠南信自動車道喬木ICへのアクセス ○生活支援・観光振興 : 周辺観光地の周遊性を向上させる ○地域の活性化 : 商業施設、産業拠点の活性化に資する								評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 南信地域広域道路ネットワーク計画、高森町・豊丘村地域防災計画 ○緊急輸送路の路線指定 : 避難経路となる路線 ○地域指定 : 東海地震に係る地震防災対策強化地域								評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.3 ○事業期間 : 6年間(H29～H34) ○代替案の検討 : ルート及び構造の検討を実施 ○他事業との連携 : 高森町道八日市場線拡幅工事								評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 12件(H25～H27) ○道路環境改善 : 橋梁の老朽化を解消(長寿命化修繕計画 橋梁点検ランクⅢ) ○歩道整備 : 歩道未整備区間の歩道設置 ○現況道路 : 最小幅員5.1m								評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(町広報によりルート計画周知、関係地区説明会) ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(下伊那北部地域道路問題検討委員会、新万年橋建設期成同盟会) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 今後、沿線環境美化など住民参加が見込まれる								評価	A
		部意見	事業の必要性、効率性及び緊急性が高いため、平成29年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	現道は幅員狭小、線形不良で、橋梁は老朽化が進み、円滑な交通に支障をきたしていることから、緊急性が高く、必要性も認められる。	評価結果	○		総合評価	A	

位置図

標準横断面図

平面図

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	万年橋は、昭和34年に架設され57年を経過した老朽橋であり、幅員は5.1mと狭く、歩道も未整備である。当該箇所は、周辺に立地する工場から天竜川を挟んだ西側の高速道路や国道へのアクセス向上、鉄道や商業施設への地域の方の利便性向上に資するため、地域における将来の開発計画や連携などの地元ニーズを踏まえた機能的な道路ネットワークの構築が望まれている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 下伊那北部地域道路問題検討委員会により天竜川架橋の検討会が5回開催されている。 平成21年度以降、新万年橋建設期成同盟会から毎年要望が挙げられている。
③事業説明等の経緯	平成26年12月、豊丘村河野地区にルート説明会。 平成26年12月、高森町山吹地区役員にルート説明、町広報にルート計画を掲載。 平成27度10月、新万年橋建設期成同盟会へ事業経過説明。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	南信地域広域道路ネットワーク計画に「地域の取組拠点を結び活性化を支える道路」として位置づけられている。(将来のリア長野県駅へのアクセスの1つとなり、中央自動車道松川ICと三遠南信自動車道喬木ICとを結ぶルート)高森町道八日市場線(JR跨線橋)拡幅工事、竜東一貫道路との接続により東西の交通円滑化が図られる。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本事業により豊丘小学校周辺、(主)伊那生田飯田線沿線の交通の転換が図られ、沿線の安全な生活環境確保が期待される。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により商業施設、工業団地への交通の円滑化が図られ、地域の産業活性化が期待される。三遠南信自動車道やリア中央新幹線を活かした地域の開発が期待される。
⑦その他	ルートについては地域の意見を踏まえ比較検討をしている。 事業代表地点の緯度経度 北緯: N 35° 34' 04" 東経: E 137° 54' 20"